

2021 年度「大学での学びと仕事」調査（卒業生調査）報告

卒業後の学生の変化と本学における「学び」の評価

1. 報告要旨

本報告は、2017 年度に本学を卒業した卒業生を対象に行った「2021 年度 清泉女子大学「大学での学びと仕事」についての調査」（以下、卒後 3 年アンケート）をもとに、卒業時点における「学びの達成度」や本学での学びの有用度などをまとめたものである。

なお卒後 3 年アンケートは 2021 年 7 月 28 日～8 月 15 日まで Google Form を用いて実施し、対象者（就職課に連絡先の届け出があった者）236 人中 62 人から回答を得た。回答者の 9 割（57 名）が正社員として就労しており、就労していない者はいなかった。回答者の内訳は日文 11 人・英文 19 人・西文 6 人・文化史 15 人・地球市民 11 人であり、「転職経験あり」と答えたのは 19 人（31%）、3 社目に勤務している卒業生も 4 人（6%）いた。

2. 結果の概要

2.1. 卒業後 3 年経過時点で大学生活を振り返ったときの全学 DP 達成度

本学の卒業認定・学位授与の方針（以下 DP）は文学部 DP と学科 DP の 2 つが定められており、文学部 DP についてはすべての卒業生が満たすべきものとして設けられている（表 2-1）。

表 2.1：清泉女子大学 文学部 DP

清泉女子大学文学部は、本学に所定の年限在籍し所定の単位を修得し、次のような知識、技能、態度、資質を備えた学生に対して卒業を認め、学士の学位を授与する。

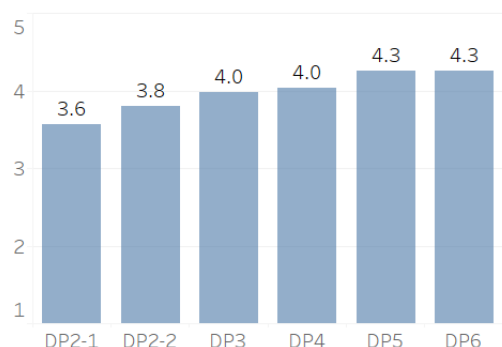
- (1) 豊かな教養と専門領域の学芸を修得している。
- (2) 建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕的精神を持って行動できる。
- (3) 複雑な事象を前にしても、問題の根源にさかのぼって論理的に思考を重ね、解決を目指すことができる。
- (4) 言語等によるコミュニケーションの能力を備え、多様な立場や考え方が交錯する中でも対話を続ける姿勢を保つことができる。
- (5) 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重し、国際社会の中で活躍するための基本的な資質を備えている。
- (6) 常に学ぶ態度を忘れず、知識を広め教養を深めて、自分を豊かにしていくことができる。

DP(1)[豊かな教養と専門領域の学芸を修得している]については卒業時 GPA で検証してきたため除外し、DP(2)から DP(6)について達成度の自己評価を行った。達成度の自己評価は 1（達成できなかった）から 5（達成できた）までの 5 段階とした。また DP(2)[建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを

理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕的精神を持って行動できる]については、①[キリスト教ヒューマニズムの理解]と②[キリスト教ヒューマニズムに基づいた思いやりのある行動]という 2 項目に分割して評価を実施した。

図 2.1 は、卒後 3 年アンケートの回答者について、卒業時点での文学部 DP 達成度と、卒業後 3 年時点で振り返ったときの文学部 DP 達成度を示したものである。DP4 を除き達成度は横ばい、もしくは低下しているものの、全体としてはどの項目の達成度も 3（どちらともいえない）を超えていることから、卒業生は社会に出て経験を積んだ時点で振り返っても、大学の学びは卒業時点で十分に達成したと評価している、つまり仕事においてこれらの能力で著しい困難を感じたことがない状況であると考えられる。

卒業時 文学部DP達成度



卒後3年 文学部DP達成度

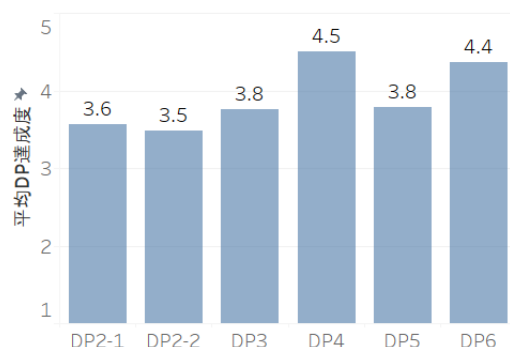


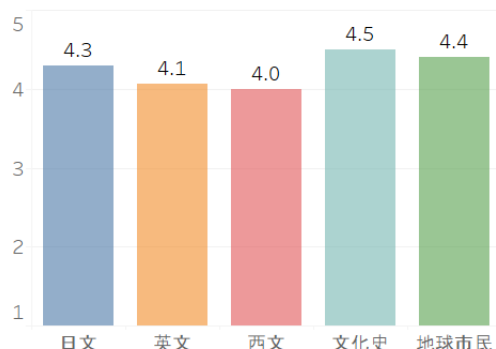
図 2.1 卒業時・卒業後 3 年時点での文学部 DP 達成度（自己評価）

2.2. 学科 DP 達成度

学科 DP については表 2.2-1 のとおりである。卒業時アンケートでは各学科につき 1 項目の DP に対して表 2.2-2 の設問を作成し、達成度の自己評価を行った。卒後 3 年アンケートでは、卒業時アンケートに倣う形で設問を作成し、同様に達成度の自己評価を行った。

図 2.2-1 は卒業時点での学科 DP 達成度と卒業後 3 年時点で振り返ったときの学科 DP 達成度を示したものである。基本的には文学部 DP と同じ傾向を示しており、卒業後においても大学時代の学びの達成を評価していると考えられる。

卒業時:学科DP達成度



卒業後3年:学科DP達成度

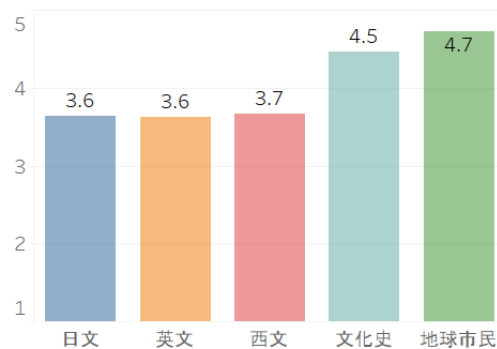


図 2.2-1：卒業時と卒業後 3 年での学科 DP 達成度

表 2.2-1：学科DP

●日本語日文学科ディプロマ・ポリシー

- (1) 日本語学・日本古典文学・日本近代文学の三分野において豊かな教養と深い専門的知識を修得している。
- (2) 日本語及び日本文学の知見に立って、論理的な思考力と優れた表現力を備えている。
- (3) 国際貢献の土台となる、自国の文化への深い理解を持っている。

●英語英文学科ディプロマ・ポリシー

- (1) 英語運用技能（読む、書く、話す、聴く）を修得している。
- (2) 英語学と英米文学を中心とした英語で書かれた文学における専門的知識を持っている。
- (3) 広い視野と深い教養を持っている。
- (4) 多様な文化への理解がある。
- (5) 国際社会に貢献できる。

●スペイン語スペイン文学科ディプロマ・ポリシー

- (1) スペイン語の基本技能（読む、書く、話す、聴く）を修得している。
- (2) スペイン語で書かれた文学を学修している。
- (3) 広い視野と深い教養を持っている。
- (4) 多様な文化への理解がある。
- (5) 国際社会に貢献できる。

●文化史学科ディプロマ・ポリシー

- (1) 歴史・美術史・思想史・宗教史の四つの専門分野ならびに関連分野を学修し、いずれかの分野の専門的能力を備えている。
- (2) 先入観や偏見にとらわれることなく、広い視野から専門分野にかかわる諸問題に取り組み、批判的・自律的に考えることができる。
- (3) 異文化や他者を理解し、よりよい世界の構築に寄与しようという意識をもって思索を重ねることができる。

●地球市民学科ディプロマ・ポリシー

- (1) 主体性・責任感・協調性を修得している。
- (2) 判断・批判・対話・創造・実践の各能力を修得している。
- (3) 地球社会の諸問題を国家や民族の枠組みを超えて、人類の共生という視点を理解し、解決していくことができる。
- (4) 英語等外国語運用能力を修得している。

表 2.2-2：学科 DP 達成度用設問

[日文]あなたは日本語日本文学科で学んだことで、自国の文化への理解は深まりましたか。
[英文]あなたは英語英文学科で学んだことで、英語学や英米文学についての広い視野と深い教養を身につけることができましたか。
[西文]あなたはスペイン語スペイン文学科で学んだことで、スペイン語学やスペイン文学についての広い視野と深い教養を身につけることができましたか。
[文化史]あなたは文化史学科で学んだことで、専門分野（美術史・歴史学・思想史など）に関わる諸問題に取り組み、批判的・自律的に考えることができるようになりましたか。
[地民]あなたは地球市民学科で学んだことで、地球社会の諸問題を国家や民族の枠組みを超えて、人類の共生という視点を理解し、解決していくことができるようになりましたか。

2.3. 学科の学びと社会

図 2.3-1 は、学科で学び身につけたことが仕事の役に立ったかを尋ねたものである。「役立ったと思う」「やや役立ったと思う」を合わせた回答の割合は文化史がもっとも高く(87%)、英文(84%)、日文(81%)、地民(81%)、西文(66%)の順であった。

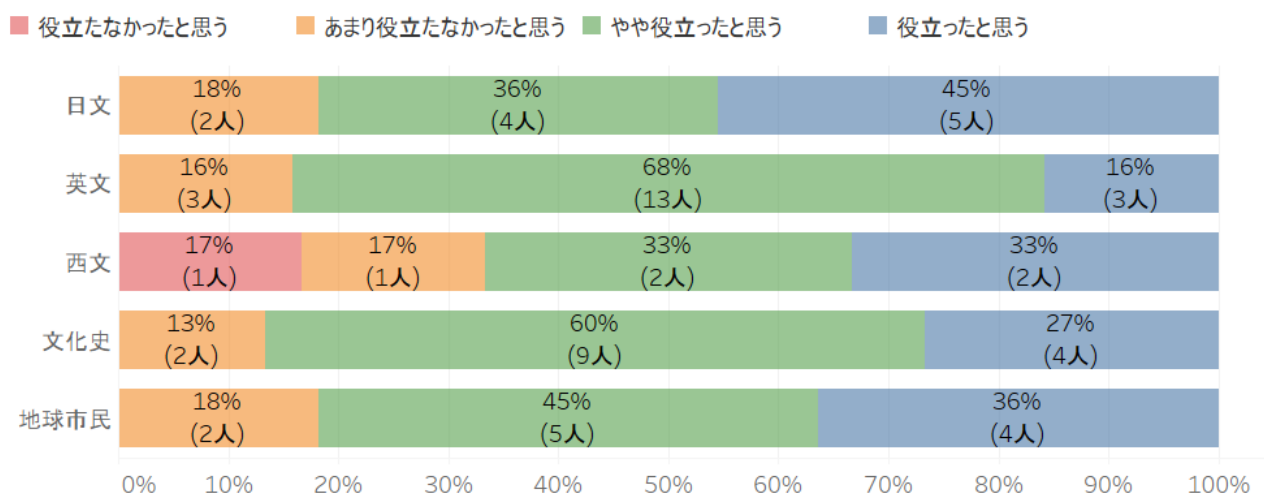


図 2.3-1：学科の学びで身につけたことが、仕事の役に立ったか

3. まとめ

卒業後 3 年が経過し、就職して社会人として勤務している卒業生は、本学での学びについて、一定の達成度で卒業したと評価し、また身につけたことは仕事の上で役立っていると感じている。一方、自由記述においては、卒業生が正課科目でもっと学びたかったと考えている講義や内容が含まれていたことから、今後の開設科目や図書資料等の検討材料にするとともに、キャリアプランニング等で在学生にむけた情報提供を行っていく必要がある。

以上